



年頭のご挨拶

ハイサイ！グスーヨー イーソーグワチデービル

(新年、明けましておめでとうございます。)

県民の皆さまにおかれましては、気持ちも新たに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、戦後80年の節目に、戦後80周年平和祈念事業として40事業に全庁体制で取り組み、次世代を担う若者をはじめ、多くの県民の「平和を考える機会」を創出するとともに、平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外に発信しました。また、沖縄県とハワイ州の姉妹提携40周年及びハワイ、カナダの沖縄移民125周年を迎え、現地で記念行事、文化交流を通じ、沖縄県とハワイ、カナダの絆を再確認する機会となりました。

加えて、8月に開催された第107回全国高等学校野球選手権大会において、沖縄尚学高等学校が優勝し、県民に大きな誇りと勇気と希望をもたらすなど、本県にとって、大変意義深い一年となりました。

一方で、台風第8号による大東島地方の記録的な大雨や、導水管破損による断水など、県民生活に深刻な影響を及ぼす事案も発生し、県は国や市町村、関係機関と連携し、一日も早い復旧に向け取り組みました。

令和8年は、沖縄の象徴である首里城正殿がいよいよ完成いたします。

正殿の完成は、首里城復興の大きな節目となることから、首里城に象徴される歴史・文化の価値を次世代へ継承し、国内外に向けて沖縄の魅力を発信するなど、首里城の復旧・復興に関する取組を行います。

沖縄経済は、観光需要が好調で、大型テーマパークの開業といった明るい材料はある一方で、長引く物価高や人手不足等により、県民生活や事業活動は依然として厳しい状況にあり、県内各産業における賃上げや労働生産性向上に向けた取組が一層重要となっています。県経済の成長と自立型経済の構築に向け、全産業におけるDXの推進や県内企業への賃上げ支援など、県内企業の「稼ぐ力」の強化に向けた各種施策を推進します。

人口減少対策については、本県の総人口は、今後、少子高齢化等による人口減少が見込まれていることから、少子化対策等により人口減少のペースを緩和させつつ、「稼ぐ力」の強化など持続可能な社会が成り立つための取組を推進します。特に、小規模離島においては、人口減少等により地域社会の存続が危ぶまれる深刻な状況となっていることから、より一層の対策を講じます。

こども・子育て対策については、全国と比較して厳しい状況にあるこどもの貧困問題の早急な解消に向けた取組を積極的に推進するとともに、誰もが安心してこどもを産み育てることができ、環境を整備するなど、社会の一番の宝であるこどもたちが生まれ育った環境に左右されることなく、生き生きと暮らせる社会の実現を目指し、こども若者の意見表明や社会参画など、こども施策を力強く推進します。

域外交については、アジア・太平洋地域の平和構築と相互発展に貢献するため、国連等の国際機関や、北東アジア地域自治体連合などの国際的な自治体組織のネットワークとの連携により、さまざまな分野における取組を展開します。

地域公共交通の充実については、県民生活の質の向上、地域経済活性化などの目的を達成するため、公共交通の将来像を県民と描き、その実現に必要な取組を検討する「次世代交通ビジョンおきなわ(仮称)」の策定に、まちづくり、基地跡地利用の観点も踏まえながら取り組みます。

基地問題については、2013年に政府に提出した建白書や、2022年に取りまとめた新たな建議書に込められた県民の願いを実現するため、辺野古新基地建設反対を貫くとともに、普天間飛行場の危険性除去や県外・国外移設等の米軍基地負担の在り方、米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本改定等を日米政府及び全国に訴え続けるとともに、普天間飛行場の危険性や米軍基地から派生する環境問題、多発する米軍関係の事件・事故など沖縄の正確な情報を発信します。

今年は、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」の折り返しを迎える大切な一年となります。平和で誇りある豊かさ「新時代沖縄」を更にその先へ進め、誰もが輝き、誰もが尊重され、幸福が真に実感できる沖縄を目指してまいります。

県民の皆さまにおかれましては、引き続き県政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして明るく良い年となりますよう祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。

クトウシン ユタサルグトウ ウニゲーサビラ

(今年もよろしく願っています。)

令和八年一月一日

沖縄県知事 玉城 デニー